

新学習指導要領の前文、総則には、「持続可能な社会の創り手」を育成することが掲げられました。

教科書では、持続可能な開発目標(SDGs)をデザインの観点から掲載するとともに、下記のように ESD の視点に立った題材や事例を掲載しています。

キーワード	関連ページ	内容
環境 エネルギー	5・6 上 p.52-53「伝え合いたい思い」 5・6 下 p.46-47「ドリーム・プロジェクト」	環境や安全について考えながら、ポスターをつくる題材や、未来の学校や町をつくる題材が掲載され、環境問題への関心を高められるよう配慮されている。
	5・6 上 p.54-55「地いきとつながる」	同じ地域で暮らす大学生と協力し、その地域のよさや課題について話し合いながら未来のまちをつくる事例が掲載され、環境問題への関心を高められるよう配慮されている。
防災	5・6 上 p.56-57「形や色に思いをこめて」	防災・安全について、防災看板のピクトグラムや、震災からの復興を願った展示・活動の様子などが掲載され、防災への考えを深められるよう配慮されている。
生物多様性	3・4 上 p.2-4「しぜんの色」 3・4 下 p.2-4「しぜんの形」	「教科書美術館」において、多様な形や色をした動物、植物、土、海の生き物などが取り上げられ、造形的な視点から、生物の多様性についての考えを深められるよう配慮されている。
	3・4 上 p.22-23「身近なしぜんの形・色」	身近にある葉や小石を集め、自然の形や色のよさを感じ取る題材が掲載され、造形的な視点から、生物の多様性についての考えを深められるよう配慮されている。
国際理解	諸外国の児童の作品 (1・2 上 p.21/1・2 下 p.27/3・4 上 p.25 /3・4 下 p.27/5・6 上 p.23/5・6 下 p.25)	生活の中で感じたことや見たことから絵に表す題材において、諸外国の児童の作品が掲載され、それぞれの国による表現方法の共通点や違いを感じ取りながら、国際理解への関心を高められるよう配慮されている。
	諸外国の美術作品など (1・2 下 p.2-4, 35/3・4 下 p.3-4, 52-53 /5・6 上 p.34/5・6 下 p.3-4, 18, 34-35 /5・6 下 p.54-55)	諸外国の美術作品や建築物などが取り上げられ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解学ぶ中で、国際理解への関心を高められるよう配慮されている。
	国際理解に関する事例 (1・2 下 p.57/5・6 上 p.56-57/5・6 下 p.54-55)	留学生との交流事例、世界中の石を使った美術作品の鑑賞事例、キッズ ゲルニカの日米共同製作の事例が取り上げられ、国際理解への関心を高められるよう配慮されている。
世界遺産や 地域の文化財等	1・2 下 p.42-43「わくわく おはなしゲーム」 3・4 下 p.52-53「ポーズのひみつ」 5・6 上 p.24-25「使って楽しい焼き物」 5・6 下 p.8-9「おもしろ筆」 5・6 上 p.10-11「墨と水から広がる世界」 5・6 下 p.26-27「すてきな明かり」 5・6 下 p.38-39「わたしの感じる和」	伝統的な遊び、伝統工芸、伝統文化などに関連する形で、すごろくをつくる題材、浮世絵などを鑑賞する題材、日本各地の焼き物も参考にしながら焼き物をつくる題材、身近な材料で筆をつくる題材、墨と和紙を使って絵に表す題材、和紙などでランプシェードをつくる題材、日本の美術を鑑賞する題材が掲載され、日本の文化や地域の文化財等について考えを深めることができるよう配慮されている。
	1・2 下 p.34-35「ならべる」 3・4 上 p.2-4「しぜんの色」 3・4 下 p.2-4「しぜんの形」 3・4 下 p.65「昔から身近にあったねん土」 5・6 上 p.2-4「身近なものを見つめて」 5・6 上 p.34-35「分ける」 5・6 下 p.2-4「想像する力」	地域の文化財である美術作品、伝統文様である青海波文様、世界遺産、土偶、盆栽、国宝などが取り上げられ、世界遺産や地域の文化財等への関心を高められるよう配慮されている。
	1・2 下 p.63「ねん土を やくと」 3・4 下 p.56-57「ざいりょうを見つけよう」 5・6 上 p.36-37「つくる」 5・6 上 p.54-55「地いきとつながる」 5・6 下 p.56-57「墨で表そう」	地域で古くから手に入る材料を使った伝統工芸品や和紙の製造工程などが紹介されている。また、地域の特産品を使った弁当のパッケージをつくる事例、地域のおみこしをつくる事例などが紹介され、地域に関わりながら活動することで、地域文化や郷土への関心を高められるよう配慮されている。
	5・6 下 p.36-37「美術館へ行こう」	様々な地域の美術館の取り組みが紹介され、児童が地域の美術館に興味をもったり、美術館を活用して活動したりできるように配慮されている。
	3・4 上 p.56-57「みんなとつながる」	地域の高齢者福祉施設の方へ図画工作科でつくった作品をプレゼントする事例が紹介され、福祉への関心を高められるよう配慮されている。
福祉	5・6 下 p.40-41「水の流れのように」	「手で見える展覧会」の事例では、視覚障がい特別支援学校の児童の作品を触って鑑賞する様子が掲載され、触覚で鑑賞する方法が提案されている。
	5・6 上 p.52-53「伝え合いたい思い」	人権に関わるポスターを製作する題材が掲載され、人権への考えを深められるよう配慮されている。
人権	1・2 下 p.56-57「すがこうさくが ひろがる」 3・4 上 p.56-57「みんなとつながる」 3・4 下 p.42-43「カードでつたえる気持ち」 5・6 上 p.54-55「地いきとつながる」 5・6 上 p.56-57「形や色に思いをこめて」 5・6 下 p.26-27「すてきな明かり」 5・6 下 p.46-47「ドリーム・プロジェクト」 5・6 下 p.54-55「平和をつなげるかたち」	図画工作科の活動を通して、異学年の児童、身近な地域、社会とつながる事例などが紹介され、共生への考えを深められるよう配慮されている。
	5・6 下 p.54-55「平和をつなげるかたち」	「ゲルニカ」「キッズ ゲルニカ」「3,000 まいの原爆ドームの絵」などの事例が取り上げられ、表現を通して平和について考えることができるよう配慮されている。
	3・4 下 p.56-57「ざいりょうを見つけよう」	古くからその地域で手に入る材料を生かした、伝統工芸品などが紹介され、日本の各地域の多様な文化について関心を高められるよう配慮されている。
	5・6 上 p.56-57「形や色に思いをこめて」	世界中の石を使ってつくられたモザイク壁画「黄金の林檎」や、様々な国の人が見て分かるピクトグラムという観点から「持続可能な開発目標(SDGs)」が取り上げられ、多文化共生についての考えを深められるよう配慮されている。
	諸外国の美術作品など (1・2 下 p.2-4, 35/3・4 下 p.3-4, 52-53 /5・6 上 p.34/5・6 下 p.3-4, 18, 34-35 /5・6 下 p.54-55)	諸外国の美術作品や建築物などが取り上げられ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解学ぶ中で、文化多様性への関心を高められるよう配慮されている。
文化多様性		

*キーワードは「ESD(持続可能な開発のための教育)推進の手引」(改訂版)を基に選定しています。 <http://www.mext.go.jp/unesco/004/1405507.htm>

◆教科書全体を通して、児童が多様性を尊重しながら学べるよう配慮しています

- ・情景写真やイラストにおいて、登場する男女の数がほぼ同数となるよう配慮しています
- ・情景写真やイラストにおいて、外国にルーツをもつ児童、高齢者、障がいのある人など、多様な人々が関わり学び合う姿を掲載しています
- ・作品の掲載において、作家による作品だけでなく、伝統工芸やアール・ブリュットの作品など幅広く取り上げています